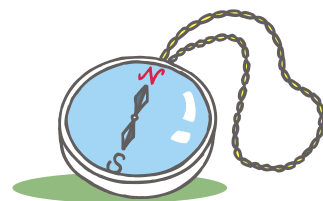


# 羅 針 盤

第 11 号

令和6年7月19日（金）



## ◆ 節（ふし）をつくるために

明日から35日間の夏季休業期間、いわゆる夏休みに入ります。コロナ禍の影響も徐々に落ち着いてきて、今年度も通常での夏季休業期間となりました。学習活動や部活動に限ることなく、日頃は時間を十分にかけて取り組めないような内容にも、生徒の皆さんにはこの機会に是非チャレンジしてもらいたいものです。そして、有意義な時間を過ごす中で、自分自身の「有り様」にも向き合い、一か月先や、一年先、あるいは、十年先の自分を想像する中で、自分の将来像を見据えてほしいと考えます。1学期の始業式では、一人ひとりが自主・自立の確立に向けて、心掛けてほしい3つの事がらである『あ・ひ・る』の約束を継続していきましょうというお話をしました。その3つの事がらとは、「あいさつができる人になる」、「人の話を素直に聴くことができる人になる」、「ルールを守ることができる人になる」ということでした。これらの心掛けてほしい3つのことからは、1学期の終業式を迎えた今日のこの日にこそ、もう一度しっかりと振り返ってみてほしいと思います。今一度、一人ひとりが責任ある行動をして学校生活を過ごせたのかといったことを自分自身に問いかけてみてください。そして、この夏季休業中に、2学期に向けてしっかりとした節（ふし）づくりに励んでもらいたいと思います。10mをも超える高さにまでに成長する竹も、最初はわずかながらに地面から出てくる小さな「竹の子」です。しかしながら、「竹の子」を縦に半分に切ってみるとよくわかりますが、「竹の子」の中には将来の節（ふし）となるところがたくさん詰まっています。外側からは見ることでできない部分ではありますが、やがて大きく成長していくと、しっかりとした節（ふし）をつくりながら、立派な竹になっていきます。折れることなく、そして、まっすぐに成長していくために、何よりもこのしっかりとした節（ふし）をつくるのが大切なことです。そのことが、やがては大きな「夢の実現」に繋がっていくことになります。まずは、与えられた宿題や課題を仕上げてしまうことです。一カ月後の2学期の始業式の日には、自信を持ってしっかりとした節（ふし）をつくりあげることができたと言えるよう、大いに皆さんの成長に期待しています。くれぐれも健康には十分に留意して、元気な姿で、2学期の始業式にお会いしましょう。

※「竹の子」は、漢字一文字で「筍」と書きます。雨が降ると「竹の子」は、すくすくと育ち、10日もすれば1mも超える高さまで直ぐに育つそうです。「筍」という字は、10日間を意味する「旬」から来ているそうです。



明日より35日間の夏季休業期間に入ります。長期にわたる夏休みでとなりますが、ご家庭でも、健康には十分な注意を払いながら、子どもたちが規則正しい生活を過ごせますよう、ご指導をお願いいたします。また、2学期以降も引き続き、城陽中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開して参りますので、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。（校長 坂井伸治）

